



MGU Chapel Letter

—第 28 号 2023 年 9 月 1 日— 発行：大学宗教センター



* 2023 年度聖句 *

「あなたがたの内に働いて、御心のままに望ませ、
行わせておられるのは神であるからです。」

フィリピの信徒への手紙 2 章 13 節



後期の礼拝は 9 月 22 日（金）から！！

9 月の大学礼拝スケジュール

【12 時 10 分～12 時 30 分 礼拝堂にて】

- | | |
|---------------|-------------------|
| ・ 9 月 22 日（金） | 栗原 健（大学宗教センター長） |
| ・ 9 月 25 日（月） | 佐々木 哲夫（学院長・宗教総主事） |
| ・ 9 月 27 日（水） | 清水 禎文（教育学部教授） |
| ・ 9 月 29 日（金） | 松本 周（一般教育部准教授） |

礼拝は 1 月 19 日（金）まで合計 33 回行われます。ぜひご出席下さい。



礼拝堂では修理工事が行われています

礼拝堂では 9 月 30 日（土）まで、内壁等の修繕工事が行われています。
8 日（金）までは礼拝堂内に入ることができません。22 日の礼拝開始時には、まだ作業シート等が入口ホールに敷かれている可能性があります。
足元にご注意下さい。

✦ 本学院の創立記念日は？ ✦



皆さんは、宮城学院の創立記念日をご存知でしょうか。1886年の9月18日です。本学院は東二番丁の借家を校舎として誕生しました。最初の生徒数は10名、教員は4名です。

このとき初代校長を務めたのが、アメリカ・ペンシルヴァニア州から来た女性宣教師エリザベス・R・プールポー（1854年～1927年）でした。強固な意志と鋭い観察眼、豊かな実務能力と判断力を兼ね備えた彼女は、その後7年にわたり、多くの困難に遭遇し

ながらも小さな学校を切り盛りして行きます。

そんなプールポーにも悩みがありました。熱心な勉強にもかかわらず、日本語能力が思うように伸びなかったことです。これは彼女にとって大きなハンディでした。

本学の資料室には、プールポーが日本語の練習用に使っていたメモ帳が残されています。活字のように流麗な筆記体で、彼女は、周囲の人から習ったとおぼしい日常会話をローマ字で書きとめています。「せんだいには こくぶんちょおという まちがあります そのまちは たいそおにぎやかでございます。」「こちらは たいそーてんきがよろしうございますが あちらは どのよーなきこーでありますか あなたのおくにではおかげのために たいそーうちなどがいたんだそーにききましたがおたくでは ごふなんでございますか。」「やすものは ながくもたないから そんです。」 なんとか日本語の言い回しを覚えようとしているプールポーの努力が伝わって来ます。こうした地道な努力のうちに、本学は建てられていったのです。

イエスのたとえ話に、「からし種のたとえ」（マルコによる福音書4章30節～32節）というものがあります。「神の国を何にたとえようか。（略）それは、からし種のようなものである。土に蒔くときには、地上のどんな種よりも小さいが、蒔くと、成長してどんな野菜よりも大きくなり、葉の陰に空の鳥が巣を作れるほど大きな枝を張る。」 からし種はイエスの時代、最も小さな種と思われていました。それほどまで小さなものであっても、神の愛を受けて大きく成長することができます。プールポーも、自分が始めた学校が130年以上にわたって存続し、大学だけで3100名以上の学生（2023年現在）を擁するまでになるとは想像していなかったでしょう。常に予想を上回る神の恵みとつくしみを覚えて、この学び舎での歩みを続けて行きましょう。

【連絡先】 宮城学院キリスト教センター

TEL : 022-279-9558

Email : christ-c@mgu.ac.jp